

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎設備機器改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	〇
政策	41計画の実現のために	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	電気設備及び監視システム改修工事を完了する	③平成27年度に取組む改革・改善内容	平成26年度で終了。
②①に基づく取組み結果	電気設備及び監視システム改修工事は完了した		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(設備)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の設備機器については、老朽化が進み不具合が生じていることから改修を行うものである。
②事務事業の概要	老朽化した庁舎設備機器の改修工事を実施する			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから、適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できるようにする必要がある			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	老朽化した庁舎設備機器の改修工事を実施した					
②成果を表す指標	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i 改修割合	0	7	93	%	業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	8,380	103,226	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			103,226	改修工事		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	1,200	103,200				
一般財源(千円)	7,180	26				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を実施している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	電気設備及び監視システムの改修工事は終了。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	改修工事の実施	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額			決算額		
②計画に対する事業実績	改修工事を実施した	117,785	117,686	当初	117,785	103,226	H25からの繰越	0
				H25→26繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0	現年分	103,226	
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-99			
		平成27年度への繰越額(単位:千円)						

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市庁舎免震改修工事	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくれます	担当課室	契約管財課			
施策	233防災対策の強化	担当課室長	谷口 光儀			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	工事着手に向け関係部署と調整を行うことと、9月補正にて事業費を計上し工事を実施する。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	来庁舎の安全に配慮して施工するため仮設計画等について十分な検討を行う。 通常業務に支障が生じる事の無い様、関係各課と調整を行い施工を実施する。
②①に基づく取組み結果	9月補正にて事業費を計上し入札を行った。業者との契約締結後、着工した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市庁舎(建物)	意図(対象をどうするのか)	市庁舎の防災拠点としての整備を行い、施設の安全面の確保と利便性の向上を図る。
②事務事業の概要	市庁舎の免震改修工事を実施する			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市庁舎は多くの市民が利用する施設であることから適正な管理を行い、安全・安心、快適に利用できる必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	事業費を算出し入札を行い施工業者と契約をした。					
②成果を表す指標	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i 改修割合			0	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	33,616	40,000	金額(千円)	内容	1,450,000	
国支出金(千円)			40,000	工事請負費		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	30,200	38,500			1,406,100	
一般財源(千円)	3,416	1,500			43,900	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後、30年以内に首都直下型地震が発生すると予想されている中で、早期の免震化が求められている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	大規模な修繕等に関する長期的な展望を踏まえながら、日々の適正な維持管理の実施によって、施設の延命化を図る必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	事業費を計上し工事を実施する	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	事業費を計上し工事を実施した	40,000	40,000	当初	40,000	H25からの繰越	
				H25⇒26繰越		現年分	40,000
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額(単位:千円)					